

道徳はこんな内容です

道徳教育は

道徳の時間は

- ・人間が本来もっている「よりよく生きたい」という願いや「よりよい生き方を求め実践する人間」の育成を目指し、その基盤となる道徳性を養う教育活動です。
- ・小学校では、人間としてよりよく生きるために共通の心構えや行動の仕方を様々な体験や学習を通して学びます。基本的な生活習慣やルール・モラルの指導をしたり自然体験活動やボランティア活動などの体験活動をしたりして道徳性の育成を図っていきます。

- ・教育活動全体を通して行う道徳教育の要となるのが道徳の時間です。
 - ・教師と児童がいっしょに、いかに生きるべきかを「共に考え、学ぶ」時間です。
 - ・一人一人が主体的に道徳的価値の自覚を図り道徳的実践力を身に付ける時間です。
- ※道徳の時間の基本的な指導過程を紹介します。

導入	児童の興味や関心を高める段階
展開	ねらいを達成するための中心となる段階 児童一人一人が道徳的価値の自覚を深める段階
終末	道徳的価値に対する思いや考えをまとめたり温めたりして、今後の発展につなぐ段階

道徳性とは

- ・人間としての本来的な在り方やよりよい生き方を目指してなされる道徳的行為を可能にする人格的特性であり、人格の基盤をなすものです。
- ・人間が人間として共によりよく生きていく上で最も大切にしなければならないものです。

1年生はこんな学習をします

道徳教育の評価

- ・道徳教育における評価は、児童の人間的な成長を見守り、よりよく生きようとする努力を評価し勇気付ける働きをもつものです。観察、質問紙、作文などを利用して道徳性の共感的理解に努め、その結果を指導に生かすようにしています。

1 自分自身に関すること

- ・健康や安全に気を付け、物や金銭を大切に、身の回りを整え、わがままをしないで、規則正しい生活をする。
- ・自分がやらなければならない勉強や仕事は、しっかりと行う。
- ・よいことと悪いことの区別をし、よいと思うことを進んで行う。
- ・うそをついたりごまかしをしたりしないで、素直に伸び伸びと生活する。

学校では

道徳教育の目標、道徳の時間の目標に基づいて道徳教育の全体計画と年間指導計画を作成しています。

さらに、学級では、学級における指導計画を作成するなどして道徳教育の充実に努めています。

また、道徳教育の指導に当たって、教師と児童の信頼関係及び児童相互の人間関係を深めたり、家庭や地域社会と連携して道徳的実践の充実に努めています。

2 他の人とのかかわりに関すること

- ・気持ちのよいあいさつ、言葉遣い、動作などに心がけて、明るく接する。
- ・身近にいる若い人や高齢者に温かい心で接し、親切にする。
- ・友達と仲良くし、助け合う。
- ・日ごろ世話になっている人に感謝する。

3 自然や崇高なものとのかかわりに関すること

- ・生きることを喜び、生命を大切にすることを学ぶ。
- ・身近な自然に親しみ、動植物にやさしい心で接する。
- ・美しいものに触れ、すがすがしい心をもつ。

4 集団や社会とのかかわりに関するもの

- ・約束や決まりを守り、みんなが使う物を大切にすること。
- ・働くことのよさを感じて、みんなのために働く。
- ・父母、祖父母を敬愛し、進んで家の手伝いなどをして、家族の役に立つ喜びを知る。
- ・先生を敬愛し、学校の人々に親しんで、学級や学校の生活を楽しくする。
- ・郷土の文化や生活に親しみ、愛着をもつ。

学校ではこれらの内容を全体にわたって指導しますが、児童や学校・学級の実態、特色などを考慮して、さらに重点的に指導していきます。

